

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 083	提案機関名 一般社団法人神奈川県養豚協会
要望問題名 肥育期間の短縮(飼料要求率の改善)の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 配合飼料価格、自家配合飼料の原料価格の高騰で、養豚の経営が圧迫されています。 繁殖性の改善等、生産者は飼養管理面でも経営の効率化に取り組んでいるところです。 そこで、肉質を落とさず、肥育期間を短縮(飼料効率の改善)ができる飼料、飼料給与方法、その他飼養管理技術の改善を検討願いたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ご要望にあるとおり、肉質を落とさず、肥育期間を短縮(飼料効率の改善)できる飼料、飼料給与方法、その他飼養管理技術の改善は重要なテーマであると考えます。現在のところ、多くは増体重や肉質に特徴を付ける方向での飼料や飼料給与方法、育種改良が取り組まれておりますが、飼料価格高騰を受け、養豚関連の情報誌等でもたびたび特集が組まれるなど、改めて飼料効率が注目されています。今後も関連する最新情報の収集に努め、課題化も含めて引き続き検討してまいりたいと考えています。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			